Ⅵ　取り組む施策とその目標

１．　農業でかっこよく働こう！

―「重要な産業」としての大阪農業の振興－

**（１）ビジネスマインドを持つ農業者の育成**

ビジネスマインドの醸成や経営能力の向上、法人化など、農業者の経営強化を応援します。さらに、大阪農業の持続的発展に向けて、夢を持って経営プランの実現を目指す農業者や、次代の担い手の育成などの地域の課題解決を目指す「共有価値の創造（CSV: Creating Shared Valueの略）」を実践する農業者を育てます。また、農業経営の規模拡大に向けて、人材確保などに取り組んでいきます。

**【取組内容】**

1. **経営向上意欲の高い農業者を対象とした集中的な取組み**

・重点的担い手育成システムの展開

1. **農業者の経営能力強化支援**

・CSVを念頭に置いた農業ビジネススクール(大阪アグリアカデミア)の運営

・経営コンサルタントの派遣（経営強化コンサルプロジェクト）

・経営強化プランコンテストの開催（おおさかNo-1グランプリ）

・人材確保のサポート（戦略型農業人材マッチング）

1. **農業経営の法人化の推進**

・法人化セミナーや個別相談会等の開催

1. **関係機関と連携した経営能力の強化**

・JAと連携した指導者向け研修会の開催

・大阪府担い手育成総合支援協議会を通じた認定農業者（＊）への講習会等の

実施

・民間企業と連携した農業者の課題解決サポート

1. **農業者のネットワーク活動の推進**

・若手農業者や女性農業者、大阪府農の匠等の交流活動の促進

1. **優良事例の発信による経営能力向上の意識啓発**

・選賞・表彰事業の実施

・SNSを通じた農業者情報の発信

＜5年後の目標＞

経営改善意欲の高い農業者の平均販売額の３割増加

※販売額の増加を図る対象農業者約300名

**（２）農業を新たな「仕事」にできる機会の拡大**

府民や企業が、農業に参入しやすい機会を拡大します。大阪独自の取組みである準農家制度のさらなる推進をはじめ、新規就農や企業参入のトータル的なサポートの充実や、ハートフルアグリ（＊）の促進、新規就農者の参入促進と定着などを応援します。

**【取組内容】**

1. **新規就農者の参入促進と定着に向けた取組み**

・新規就農相談窓口の運営（就農ガイダンス・相談会の開催）

・大阪型農業インターンシップ制度（＊）の創設

・青年就農給付金・青年等就農資金による就農促進

・新規就農者等を支援する研修協力農業者の登録制度の創設

・新規就農村（＊）の開設

・農業大学校（＊）や民間企業等と連携した新規参入の促進

1. **企業参入のトータルサポート**

・農地中間管理事業（＊）を活用した農地確保

・農の成長産業化推進事業（経営強化コンサルプロジェクト）を活用した経営改善

1. **準農家制度のさらなる推進**

・農地紹介の機会の充実

・定着を目的としたステップアップセミナー（講習会・交流会）の開催

1. **女性農業者の活躍推進**

・大阪発女性農業者応援事業による活躍の場の創出

1. **障がい者の新たな就労の機会を創出するハートフルアグリの促進**

・ワンストップ相談窓口「ハートフルアグリサポートセンター」の運営

・経営安定化のサポート

・農家・農業法人と福祉施設のマッチング促進

1. **「仕事」としての大阪農業の魅力発信**

・農業者と府民の交流機会の創出

・各種メディアを通じた活躍する農業者の情報発信

＜5年後の目標＞

新規就農者数80人・準農家90人・企業30事業者の参入

**（３）農業ビジネスを加速させる技術開発・普及・農地利用の促進**

農業ビジネスの確立に取り組む生産者を技術開発や知恵の伝承などで支援します。大学、研究機関やものづくり企業と連携して、生産の省力化や高付加価値化のための革新的技術の開発・普及を行います。また、熟練農家の知恵・技術を後継者に伝承していくシステムの開発などに取り組んでいきます。

規模拡大農業者や新規参入者・企業の農地確保や、ほ場の整備などを進めます。

**【取組内容】**

1. **革新的農業技術の開発**

・大学、環境農林水産総合研究所・ものづくり企業のノウハウを活かした、ICT・IOT・ロボット技術等の開発

・夏季生育障害など生産性を低下させている課題の解決

・複合環境制御システムによる作物の生産性・品質の向上

・アシストスーツ等を利用した農作業の省力化

・熟練農家のノウハウの蓄積、見える化による知恵・技術の伝承

1. **革新的農業技術の普及**

・開発技術導入のための支援制度の充実

1. **規模拡大農業者や新規参入者・企業に農地の利用集積ができる仕組みづくり**

・農空間保全委員会などの取組みを通じた参入可能農地の情報把握

・営農継続困難地を規模拡大や新規参入に活用するためのほ場整備の実施

・企業等参入拡大支援整備事業（＊）による基盤整備の促進

1. **農地中間管理事業を活用した農地貸借の促進**

＜5年後の目標＞

革新的な新技術の現地実証　５技術以上（１技術以上／年）

高収益な作物の導入による高収益型農業を実現するための農地の確保　80ha

※基盤整備等による農地確保　20ha、農地貸借による農地確保　60ha

**（４）地産地消を支える農業者の育成と生産の振興**

府民のみなさんが高品質な農産物を安定的に手に入れられるようにします。「大阪版認定農業者」の育成に取り組み、野菜や果樹などの農産物を安定的に供給します。地域の合意形成を通じて地域振興に取り組みます。また、安全・安心で環境にやさしいエコ農産物等の生産や農産物の安心の見える化などに取り組んでいきます。生産に欠くことのできないため池や、水路などの農業施設の健全な維持に取り組みます。

**【取組内容】**

1. **大阪版認定農業者の育成による大阪産（もん）の供給量の拡大**

・府民ニーズに応じた生産の拡大

1. **大阪の食・文化を支える高品質な農産物の安定供給**

・野菜：JAとの連携による国の野菜指定産地等における安定生産

・果樹：生産者団体等との連携による品種更新、園地整備、技術研鑽等の推進

・花き：生産者団体等との連携による新品種導入、鮮度保持、利用拡大等の推進

・水稲：良食味・高品質米の安定生産、品種導入

・共通分野：農作物鳥獣被害対策の推進、地球温暖化適応技術の普及

1. **人・農地プラン**（＊）**の策定等を通じた地域振興**

・地域の合意形成による高収益な作物の導入と生産拡大

・機械の共同利用など地域ぐるみの営農活動への支援

・水稲作から園芸作物への転換

1. **安全・安心で環境にやさしいエコ農産物等の生産振興**

・エコ農産物など農薬の使用を抑え、省力的に栽培する総合防除技術（IPM技術）（＊）等の確立、普及

・安全・安心の確保に向けた農業生産の各工程について記録・点検等を実施するシステム等の普及

1. **農産物の生産を支える農業施設のファシリティマネジメントの推進**

・長寿命化の推進

・将来を見据えた「小型化」「統合」「有効活用」の検討・実施

1. **きめ細やかな基盤整備の推進**

・農業用水路・農道等の整備

**・**生産緑地での生産環境の整備（都市農業振興基本計画に基づく国の制度・支援策に応じて対応）

＜5年後の目標＞

主力野菜の供給量の増加　412ｔ（16,497 → 16,909t　年0.5％増）

※主力野菜：野菜指定産地・特定産地・こまわり産地の野菜

安全安心な農産物（エコ農産物）の栽培面積の増加　43ha　（533　→　576ha）

大阪産（もん）の供給を支える水利施設の健全化　　受益農地面積 1,150ha

**（５）大阪産（もん）の全国ブランドとしての流通や海外販売**

大阪産(もん)を全国ブランドとして高め、販路の拡大を図ります。大阪産(もん)の6次産業化や、農業者の販路の拡大、水なすや、若ごぼう、ぶどうなどの戦略的なブランド展開などに取り組んでいきます。

**【取組内容】**

1. **6次産業化サポートセンターを活用した商品開発・経営改善**

・地域や組織と連携した6次産業化商品の開発

・消費者、加工事業者、小売事業者とのネットワークづくり

・マーケットインの発想による商品化

1. **販路開拓にチャレンジする農業者支援**

・生産者と事業者を結ぶ商談会の実施、出展者支援

・インバウンド需要創造に向けた観光との連携

・インバウンドビジネスのための多言語対応、情報提供等の支援

1. **戦略品目を定め、生産とマーケティング、販売が一体となったブランド展開**

・戦略品目の首都圏、海外等の新規流通モデルの開拓支援

・全国及び海外向け品目のGAP（＊）の導入支援

1. **産地から消費地までのきめ細かい流通システムの構築**

・直売所や市場仲卸業者等と連携した飲食店向けの新たな流通システムの構築

・マルシェ開催情報など、事業者への情報提供による販路拡大支援

＜5年後の目標＞

戦略品目（泉州水なす）の首都圏向け出荷量の増加　20ｔ（173　→　193t）

6次産業化等に関する市町村戦略数　10件（6 → 10件）

※市町村戦略：市町村が６次産業化等の方針、今後の取組目標等を定めた計画